



**地域がん診療連携拠点病院** <川崎市立井田病院からのお知らせ>



# 第56号 井田山



**基本理念** 「井田病院は、自治体病院として、市民から信頼され、  
市民が安心してかかれる病院づくりを目指します。」

発行責任者 神山 隆

編集 川崎市立井田病院 ホームページ・広報委員会

川崎市中原区井田2-27-1

電話 044-766-2188 (代)

ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/33/cmsfiles/contents/0000037/37855/ida/index.html>



## 《新任院長あいさつ》

川崎市立井田病院長 増田 純一

このたび井田病院の病院長に就任いたしました。

私は2009年に麻酔科部長として川崎市立川崎病院に着任し、2013年から病院長として3年間勤めてまいりました。今後、前職の経験も活かしながら井田病院の運営を担っていく所存です。

さて、当院は通常の急性期病院にはない特色のある医療活動を展開しています。

病院開院から3年後の1952年に結核病棟を設置しましたが、現在では川崎市内で唯一の結核入院設備を持つ病院であり、引き続き力を入れていく所存です。1998年からは緩和ケア病棟を設置し、在宅医療にも力を入れています。さらには、2006年には地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、診断から治療、そして緩和ケアに至るまで切れ目のないがん診療の充実に力を入れています。

また、2009年から改築に取りかかり、2015年3月には外来および病棟が一新され、救急センター、内視鏡センター、化学療法センター、透析センターの機能を充実した383床の病院に生まれ変わりました。特に救急部門は、これまでの約3倍のスペースと救急車がすぐ横付けできる設備を整えました。これらの機能を十分に発揮し、安全安心で質の高い医療の提供に努めてまいります。

当院は医師・看護師等の教育支援のため、基幹型の臨床研修指定病院として初期臨床研修医の受け入れや新たに開始される専門医制度に備えた整備を進めております。また、専門看護師や認定看護師取得支援等、提供する医療の質を高めるべく人材の育成に努めています。

今後は地域完結型医療のさらなる充実に向けて、地域の医療機関の先生方(かかりつけ医)との連携を密にし、近隣の病院との機能分担と協力を推進し、地域全体で住民の皆さまの健康を守るという視点で医療に取り組んでまいります。

今後とも、引き続き皆様のご支援とご協力をお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。



## 《新任医師紹介》

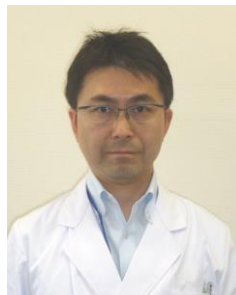
呼吸器外科部長 成毛 聖夫（なるけ まさお）

この度、呼吸器外科診療部長を担当させて頂くことになりました。慶應義塾大学外科学教室で研修後、呼吸器外科を専門とし、帝京大学病院、三井記念病院、永寿総合病院などに勤務してきました。当科では肺がん、気胸、縦隔腫瘍、転移性肺腫瘍、手掌多汗症のほか胸腔内疾患全般の外科治療を行います。肺がんも早期発見により治る病気になっています。一度調べてみたい方、健診レントゲンで異常を指摘された方など拝見します。また最近の人口動態統計が示すように手術を受ける方々も高齢化していますが、他科との協力のもと、体への負担を和らげる低侵襲手術を行っていますので安心して治療が受けられます。地域医療機関との連携とともに、充実した呼吸器外科診療を提供させていただきます。



整形外科部長 西本 和正（にしもと かずまさ）

4月から井田病院整形外科部長として赴任いたしました。本年3月までは、慶應義塾大学病院整形外科で、四肢や体幹にできるしこり、いわゆる骨軟部腫瘍の診療を中心に行っておりました。当院では骨軟部腫瘍以外にも、関節の痛みや、腰痛・しびれ、外傷など整形外科全般の診療をいたします。これまでの経験をいかして、地域の先生方と連携をとりながら、地域の皆様の健康維持に役立つよう努力してまいりたいと思います。



婦人科部長 岩田 壮吉（いわた そうきち）

4月に婦人科部長として赴任しました。昭和62年に慶應義塾大学を卒業し、今年が産婦人科医30年目の節目の年です。前職は慶應病院産科診療医長、川崎病院産科部長と勤務してきました。日本で体外受精を2番目（凍結胚は日本初）に成功した東歯大市川病院で研修医として過ごした縁で体外受精を、また日本の腹腔鏡手術発祥の地である川崎病院で腹腔鏡・子宮鏡手術に取り組んでから内視鏡手術を専門にしています。宜しくお願い致します。



## 《初期臨床研修医のご紹介と教育への取り組みについて》

井田病院の中央廊下右手には、「当院が基幹型研修病院であること」「研修病院としての理念」の2枚のパネルが掲げられ、次のような内容になっています。

1. 市民が安心して暮らせるように、プライマリ・ケアを学びます。
2. 地域医療を担う医師として、人格の涵養に努め、全人的な医療を行います。
3. 病と共に生きる患者さんや家族に寄り添い、チーム医療を実践します。



橋本医師

釜谷医師

竹田医師

井田病院は自治体病院であり、地域医療を担える医師を育成したいという願いからこの理念をつくりました。今年釜谷まりん先生・竹田雄馬先生・橋本善太先生の3名を迎えました。先生方は皆優しく真面目なお人柄で、良い医師になれると思います。

初期研修医は、1年目に内科（6か月）・救急（3か月）、2年目は井田病院又は町立中標津病院で地域医療、川崎病院で小児科・精神科・産婦人科をいずれも1か月ずつ研修します。専攻医（後期研修医）の選考が早まり1年目から選択科目を研修させる必要ができたため、外科（3か月）は2年目でも選べることにしました。研修中は病棟や救急外来を担当し、地域の皆様の診療いたしますが、必ず上級医の指導のもとで診療することになっておりますのでご理解とご協力をお願い申し上げます。

又、2015年10月に卒後臨床研修評価機構により臨床研修病院として適正との評価を受けましたが、更に充実した教育を行えるよう努力してまいります。

今後ともご支援のほどよろしくお願い致します。

（教育指導部長 麻薙美香）

# 2016 看護の日イベントのご案内

5月12日は  
看護の日

「看護の日」とは？

社会全体に向けて、看護の重要性を広め、看護の心、ケアの心、助け合いの心などを真剣に考えるということを目的に、フローレンス・ナイチンゲールの誕生日である「5月12日」に制定されました。そして、それぞれの病院や介護施設で「看護」に関連した様々なイベントが開催されます。

当院でも毎年、「地域交流・サービス向上委員会」と「看護部広報委員会」でイベントを企画し、ボランティアの方々の協力を得ながら、健康促進に関する情報提供や病院紹介などのイベントを開催しております。昨年度は、ハーブティーやハーブで作ったリースの配布、看護師による健康相談やハーブオイル使用のハンドマッサージなどを行い、約100名の患者様やご家族、地域住民の方々に参加して頂きました。



今年度は、昨年度のイベントに加え、**救急看護認定看護師による「自動体外式除細動器 AED」の体験学習**を行います。AEDとは、電極のついたパッドを胸の上に貼ると自動的に心臓の状態を判断し、もし心臓が細かくふるえて血液を全身に送ることができないようであれば（心室細動）、電気ショックを与えて心臓を正常にもどす機能が備わっています。最近、駅や空港、劇場などに「AED」と書かれた器械が設置されていますので、ご存知の方も多いと思います。そこに「AED」があり、そこにAEDの使い方を知っている人がいれば助かる命があります。

ぜひ、井田病院へ足を運んで頂き、一緒に体験してみたいはいかがでしょうか。  
職員一同、心よりお待ちしております。



**開催日時：平成28年5月12日（木）10時～13時**

**開催場所：川崎市立井田病院 1階外来、2階会議室**

**イベント内容：AEDの体験学習、お花のプレゼント、各部署紹介、ハーブティーのサービス、その他**

## 《持参薬に関するお願い》

薬剤部では、患者さんが現在服用・使用している薬を入院の際にお預かりし、薬の名前や服用方法などを調べてその内容をしっかりと主治医や看護師に伝える業務を行っています。こうした薬に関する情報は、治療計画を立てる際にとっても重要なものとなりますので、何よりも正確であることが大切です。安心・安全な治療のため、薬を持参される患者さんには、以下の点にご留意下さるようお願いいたします。

① **お薬手帳を忘れずに！**

患者さんの「薬の履歴書」として大切なものです。最近ではカード型の電子お薬手帳も普及し始めています。



② **薬袋や薬の説明書も大切な情報です！**

薬袋には用法・用量が正しく記載されています。薬は他の袋などに移し替えないようにしましょう。

③ **昔の薬（今は服用・使用していない）が混ざっていませんか？**

確認のため、薬剤師が患者さんにお話を伺わせて頂く場合があります。



薬によっては、手術や検査に影響を及ぼすため服用を一時的に中止したほうが良いものがあります。薬剤部では患者さんが入院された際、持参薬の中にそのような薬が含まれているのかもチェックしています。さらには主治医の依頼により入院前にも同様の持参薬確認を行う取り組みも始めています。

薬に関して分からないこと、不安なことなどがありましたら、ご遠慮なく薬剤師にお声かけください。

（薬剤部 阿部正視）

## ★第1回キッズセミナーを実施しました★

2016年3月12日(土)、第1回市立井田病院キッズセミナー「未来へ飛び出せジュニアドクター！わくわくドキドキ手術体験セミナー」を開催しました。

小学5・6年生30人(男子11人、女子19人)が医療器具に触れたり、医師等40人以上の病院職員と話したり、楽しく模擬手術を体験しました。



### <イベントの様子>



みんな緊張ぎみの事前説明



専用針を使用した縫合体験  
みんな器用です！



ゲーム感覚で楽しめる内視鏡操作



自動縫合器体験 大きな  
声で「ファイアー！」



電気メスで医師と一緒に豚肉  
をカット！



実際に聴診器を使って！



パパの心臓をエコーで  
チェック！



英語で書かれた終了証を  
院長から贈呈

### <プログラム>

- ①専用針を使用した手術縫合体験
- ②自動縫合器体験
- ③模擬開腹手術の助手体験
- ④内視鏡手術操作体験
- ⑤超音波診断装置・顕微鏡・聴診器・  
血圧測定等の体験

## ラジオで井田病院情報を配信中！！

かわさきFM内の市政情報や市民参加のコミュニティ情報番組、「アクセスかわさき930」にパーソナリティの丸山千珠子さんと当院医師が生出演し、病気や治療、検診等の耳寄りな情報をお届けしています。周波数を79.1MHzにセットして是非お聴きください。スマートフォンでもお聴きいただけます。

◆放送日時：毎月第3木曜日 9時30分～10時

◆再放送：毎月第3木曜日 21時30分～22時



3月は耳鼻咽喉科の矢部先生に  
出演していただきました！

## 無料シャトルバス運行終了のお知らせ

平成28年4月1日から武蔵小杉～井田病院間の市バスが増便されるのに伴い、3月31日をもって当院シャトルバスの運行を終了いたしました。

ご理解いただけるようお願いいたします。